

www.foro.jp

foro フリースクール フォロ

News Letter

残暑お見舞い申し上げます。いつもフォロを支えていただき、ありがとうございます。フォロは現在、子どもの数が30名余となり、入れ替わり出入りしています。春からは子どもたち専用のホームページを新設し、ネット上でのつながりも定着しつつあります。

また法人としては6月14日に、第2回通常総会を開催しました。また、役員を改選し、新たに2名が理事に就任しています。これからも、フォロをどうぞよろしくお願いいたします。

2003年8月21日
 特定非営利活動法人 フォロ
 代表理事 花井紀子



プールへGO!

●行きたいときの“居場所”

喜多 愛(13歳)

私は、人見知りが激しくて、幼稚園から行かなくなって毎日毎日を、家で過ごしていました。たまには学校に行ったりしてたけど、やっぱり学校は合わなくて、しんどくて、学校の友だちも、うわべだけの付き合いでした。毎日がとてもつまらなくて毎日息苦しい生活をしていました。

そして、小学4年のとき、フリースクールのことを知って、そこに行ってたけどやめて、フォロに通いだしました。フォロでは、いろんな体験をしました。たとえば、養老の滝を見に行ったり、夜行バスに乗ってスキーをしに行ったりしました、別に企画のない日とかでもフォロでゆっくりできるし、自分の好きなときに行けます。

学校みたいに強制とかじゃなくて、なんて言うか、私にとっては、フォロはすごく居心地のよい“居場所”かな。

●うれしい悲鳴が...

メンバーが増え、フォロでの過ごし方も幅広くなってきました。おしゃべり、トランプ、卓球、ゲーム、おもちゃ遊びなど、にぎやかな部屋もあれば、パソコン、ビデオ鑑賞、占い、絵本、コミック、読書など、静かに自分の時間を過ごす人もいます。フォロの約60坪の空間が少し狭く感じるようになるという、うれしい悲鳴を感じていますが、みんなで部屋の使い方を工夫しあっています。以下、この春から夏にかけてのようすをお届けいたします。

最近のフォロは

春以降の活動は

春以降も次々と新しい企画が実現しました。絵本好きな人たちの提案ではじまった「絵本の時間」は、好きな絵本を読み合ったり、クレヨンハウスや絵本の原画展へのお出かけをしたり、簡単な絵本づくりをしたりと、毎回楽しい時間をすごしています。また「ビーズであそぼ！」は、会員の親の方にご協力いただき、楽しくおしゃべりしながらリングやマスコットづくりをしています。女の子たちにとっても人気がある時間です。「お菓子づくり」では、ポップコーン、パン、フルーツパンチ、洋梨のキャラメルロールケーキ、リンゴのタルトなどに挑戦しました。自分たちでつくったお菓子は格別で、毎回好評を得ています。

ホーム会員

春から「ホーム会員」をはじめました。「ホーム会員デー」には、個人では行きにくいアニメ制作会社やサイバーセンターなどの見学に行き、好評です。しかし、ふだんのつながりをどうつくっていくかなど、まだまだ課題がたくさんあります。たとえば、ホームページでのトラブルをどう解決するか、ネットや電話を中心としたやりとりが一方的になってないかなど、迷ったり考え込んだりの毎日です。居場所とは何か、子どもたちと考えあいながら、つながっていきたいと思います。

企画のミーティング

「安上がりで、楽しめる！」と、お泊まり会や海釣り、そして「谷四ツアー（フォロの近場を再発見するツアー）」を企画。みんなで楽しむためには、相談が必要なことがたくさん。しかしミーティングへの参加は自由なので、決めたいことがなかなか決まらなかったり、ついスタッフが仕切ってしまったりと、スムーズには行きません。係分担や費用の算出に、何時間も割くこともあります。時間はかかっても、自分たちが納得できることを大事にしています。

思いつきり体を

昨年からの念願かなって、フォロではじめてプールへ行きました。「また、行きたいね！」と再企画の声が出ています。春からの卓球ブームがエキサイトして、子どもたちは毎日ラケットを握っています。おしゃべりしながらラリーをしたり、正式ルールで真剣勝負をしたり。そして、ついには、卓球名人を呼んで腕試しを挑むことに！日差しが照り返す暑い日々ですが、キックベース・サッカーをしに近くの公園へ出かけたりもしています。

個人学習タイム

英語や数学などを個別で学べる時間をつくりました。英語の時間では、ウズベキスタンの学生さんたちとメール交換し、送られてくる写真にワクワクしながら、英文で返事を書いたりしています。いずれも、個々の関心やペースを大切にしながらやっています。また、推理小説を読む時間や、実験講座も人気です。



フェアトレードのお店へ



アニメプロダクションを見学



お泊まり会でのヒトコマ



“谷四ツアー”で近所を再発見

親の方からの声

わくわくする「見直し作業」

栄 尚子

「ぐんと世界が広がったなあ」。娘(10歳)がフォロに参加するようになってからの3カ月を振り返っての感想です。彼女が学校へ行かなくなってきたからの衝突や冷戦がずいぶん昔のことのように感じられます。当時は自主的に登校してほしくて手段にはこだわっていましたが、目標を“学校復帰”にしているかぎり、うまくいきませんでした。そんなとき、フォロに出会い、フォロを通じて多くの人に出会いました。さまざまな人のちがった考え方や生き方を知るうちに、「目標は彼女が学校へ行くことではない、ましてや私の期待に沿って生きてもらうことでもない」と思うようになりました。そのとき、はじめて娘を『自分のいのちを生きている一人の人間』として見る事ができた気がします。それからは気持ちが整理され、目の前の彼女とどんな関係になりたいか、に

しぼって考えられるようになりました。おたがいに伸び伸びと主体性を発揮して生きたい。相手の個性を認め、協力し合いたい。そのために私に何ができるだろう。私自身の価値観や生き方の見直し作業のはじまりでした。今もわくわくしながら続けています。

もうひとつ、フォロに関わるようになって得たものがあります。自分の道を歩いていながら、人とつながっている感じ。人とのつながりもまた、自分で選択し、広げていけるということを実感しました。大切にしたいと思います。

こんな機会を与えてくれた娘と、自分の生き方、生きる場所は自分でつくれるんだと気づかせてくれたフォロに、「ありがとう、これからもよろしく」と言いたいです。



Talk-inフォロのようす

フォロに関わるオトナたち

フォロは、1週間に20名近いボランティアの方がさまざまに関わってくださっています。5月末には、「ボランティア・スタッフ交流会」をもち、日ごろ感じていることを出し合ったり、ボランティアどうし知り合う時間をもちました。

また、不登校や子ども・教育をテーマに意見交流する場「Talk-in フォロ」(毎月第3金曜日に開催)は、この9月で開始から1年になります。広く誰でも参加できるようにしており、「学び」や「社会性」、教師の役割、カウンセリングについてなど、参加者で話題を出し合いながら、ときにはフォロの子どもたちも参加して、突っ込んだディスカッションをしています。

●学びにはいろんなジャンルがある

操野 嵩(15歳)

私は、「学校に行かないのならフォロに通ったらよい。フォロに行っているのなら、学校に行かなくてもよい」とは考えておりません。私はフォロ(フリースクール)も学校も同じように学ぶことができるころと考えています。だから、別に学校に行かないとダメだとは思いません。

そこで「何故?」と思われるかもしれませんが、たとえで挙げますと「E.S.S(エッサッサ)」。この時間は英語を習うのですが、学校の英語とはちがって、言うならば英会話です。実際にアメリカへ行った人の話や洋楽を聞いたりして楽しくすごせて、なおかつ英語も覚えられるという一石二鳥! ほかに例を挙げると、何も予定の入ってない時間などは、私はスタッフの加藤氏にギターを教えてもらっています。ある日、フォロの帰りに私のギターを買うために心斎橋の楽器屋まで一緒に来て、午後8時ごろまでギターを選んでもらい、帰りにマクドナルドでシェイクを飲んで帰りました(笑)。加藤氏は家が京都なので家に帰宅したのは、午後11時ぐらいだったでしょう。それも天神祭りの電車が混む日にいっしょに買いに行ってもらいました。このようなことは学校では絶対できません。ここがフォロ(フリースクール)と学校のちがうところだと思います。

実際、フリースクールの存在は知られていても内容まで知られていないため、他人に伝えるのは大変で、たまに「学校は?」って聞かれると、いちいち答えるのがめんどくさくて「今日は創立記念日」なん



大阪南港で大釣り大会!

てごまかすこともあります。したがって、これを読んだ方々には、フリースクールがどのような場所で何をしてるかというのを分かっていたきたいです。子どもをフリースクールに行かせようかどうか考えている親のたいていの方が、学校とどっちのほうがいい? 悪い? で考えているでしょう。しかし、まったく別のジャンルの学習場所と考えていただいたほうがいいです。上記にもありますが、まったく学校とはちがう環境で、まったく学校とはちがうことをして、まったく学校とはちがうことを学んでいます。ところが、子どもに対して「学校とフリースクールどっちのほうがいい?」なんて聞く大人や記者の方がいらっしゃいます。しかし、私からすれば「ちがうジャンルじゃんっ!」って言いたくなることもしばしばです。最後に一言、私は学校ではなくフォロを見つけられて通えて、良かったと思います。

information

NPO会員・支援会員の方へ

NPO会員、支援会員にご加入くださった方、会員を継続してくださった方、応援、誠にありがとうございます。おかげさまで、子どもたちの居場所を維持させておくことができました。更新期の会員の方には、継続のお願いを同封させていただきました。これからも、フォロを支えていただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

◎郵便振替口座 00900-1-25564

加入者名 フォロ

譲ってください

ビデオデッキ、大きめのヤカン(3ℓくらい)、スリッパ

フォロが報道されました

- ・『朝日新聞』7月25日「コドモたちはどこにいる?」
- ・『Volo』(ボランティア情報誌)6月号、7・8月号

Foro News Letter 第5号

発行日 2003年8月21日

発行者 特定非営利活動法人 フォロ
〒540-0025 大阪市中央区徳井町1-1-3

TEL06-6946-1507 FAX06-6946-1577

mail to: info@foro.jp

URL <http://www.foro.jp>